

令和2年度

名寄市立名寄東中学校

学校だより 第3号



【校訓】

がんばるねばる

令和2年6月30日発行

『変えることができるもの、できないもの』

名寄市立名寄東中学校長 櫻庭 一也

新型コロナウイルスの影響に伴う対応につきまして、ご理解とご協力を頂いていますことに心より感謝申し上げます。6月からは通常登校となり、さまざまな教育活動が通常に戻りつつあります。もちろん三密を避けるなどの対策をとった上で、という条件つきです。行事の中止や延期、暑くなる中でのマスクの着用など、これまでと異なる学校生活に誰もが多かれ少なかれストレスを感じているようです。そのため、教職員は、これまで以上に生徒の声に耳を傾けるようにしていますが、ご家庭で気になることなどがあればいつでもご連絡ください。

さて、話は変わりますが、アメリカにアルコール依存症の方々の断酒会というのがあります。そこでは、以下のような祈りがとなえられるそうです。私は何かにつまずきそうになったときに、この祈りを思い出します。

『神よ、変えるべき変えられることを変える勇気を、変えられないものを受け入れる心をそして、二つのものを見分ける知恵を与えてください。』

私たちには変えることができるものと変えることができないものがあります。たとえば、雨が降っているからと文句をいっても、天気は変えることができません。テストで悪い点数をとったからと落ち込んでいても、点数はよくなりません。嫌なことがあって不機嫌になっても、おきてしまったことはなくなりません。人生には、受け入れるしかない、ということが多々あります。

一方で、変えるべき変えられるものもたくさんあります。新型コロナウイルスの影響は避けられないものの一つですが、その中には変えられないこともあれば、変えるべき変えられるものもたくさんあります。知恵をつかって、ストレスを適切に発散したり、軽減したりすることは可能です。

子どもたちとともに、変えられないものは受け入れ、勇気をもって変えるべき変えられることを変える勇気をもてるように取り組み、この予測困難な時代を力強く生きていける力の礎を育んでいきたいと考えています。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

『十年一昔』

主幹教諭

吉本陽之介

今年の4月で私が名寄東中学校に赴任して早いもので10年目となりました。しかし見方によっては10年という時間の長さも感じます。

「十年一昔」ということわざがあります。意味は「世の中の移り変わりが激しいので、10年経つとまるで以前の面影が失われて、昔と今ほどの違いになる」ということです。

10年前は2011年（平成23年）です。当時中学3年生だった生徒のみなさんも、25歳となり社会人として活躍しています。また現在中学1年生のみなさんの10年前は2歳で、まだ物心がついていないときでしょう。このように考えると中学生の時期を挟んだ前後10年間は、とても変化の大きい貴重な時間となります。

この10年間で名寄の人口も減少して、名寄東中学校の生徒数や学級数も3分の2に減少しました。街の様子では、駅前の一帯、エンレイホール、大学の図書館、北斗団地などの新しい建物もできました。時代も平成から令和になり、大規模停電やコロナウイルスなど過去に経験のない事態も発生しました。この先の10年間でも私たちが想定できない事態が起こり、困難に直面するかもしれません。

地球規模の活動で見ると10年は一瞬の時間です。でも人生における10年はとても長いです。

10年間の出来事を思い出すと遠い昔の過去としてよみがえり、10年の長さを実感します。

このように振り返ると、まさにことわざの意味の通りに世の中の移り変わりの激しさを実感します。そのような中ですが、変化していないものもありました。それは名寄東中学校の校舎です。世の中がどんなに変化してもどっしりと構えて私たちを暖かく見守っています。社会に出て活躍している名寄東中学校出身の「絆」をつないでくれる「礎」（いしづえ）として、いつまでも存在してくれることを願っています。

今年度のPTA活動について

第1回本部役員会が6月18日に行われました。コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は状況に応じて可能な範囲での活動を進めていくことをはじめ、以下の点を確認しましたので、お知らせいたします。

- ①各学級からの役員を選出は行わない。
- ②活動を行うときに、役員アンケートに基づき、その都度協力者を募る。
- ③部活動特別委員会の遠征費については、中体連大会が中止のため、各部活動任意の1大会について、中体連同様の補助を行う。
- ④ユニフォーム購入についても、予定通り支出する。
- ⑤広報誌「礎」は広報部担当の先生方を中心に作成し、本部役員が校正を行う。
- ⑥市P連活動について
市P連研究大会及びチームチャレンジが中止となり、代替りの取組として「写真コンテスト」を行う。

2学期以降の活動については、8月初めの本部役員会で決定し、お知らせいたします。

令和2年度 P T A 役員	
役職名	氏名
顧問	櫻庭 一也
	栗山 覚
会長	伊藤 慈生
副会長	小室 優
	阿部 年宏
	長尾 直樹
	島田 直
	白井 薫
監査	水間 剛
	上野 敬典
	山本 綾子
	水間 典子
事務局長	中村 公暢
事務局次長	吉本 陽之介
事務局員	畠 雅義
	堀 朝香
	鎌田 亮祐
	金子 茉央
	前田 裕介

学校運営協議会

令和2年度 名寄東中学校・名寄小学校
学校運営協議会名簿

令和元年度より、名寄小学校と合同で学校運営協議会を設置し、コミュニティースクールとしてスタートしました。

今年度は14名の方に委員として、学校運営に様々な面でご協力いただくこととなります。よろしくお願いいたします。

	学校	氏名		学校	氏名
会長	名寄東中	栗山 覚	副会長	名寄小	定木 孝徳
委員	名寄東中	西川 進司	委員	名寄小	裏嶋 萌
委員	名寄東中	芽名珠弘子	委員	名寄小	隈谷 洋志
委員	名寄東中	濱谷 則之	委員	名寄小	稲場由美子
委員	名寄東中	別部 守	委員	名寄小	栗山 美紀
委員	名寄東中	黒田美代子	委員	名寄小	米澤 和子
委員	名寄東中	伊藤 慈生	委員	名寄小	木賀 義友

ボランティア部

～フェイスシールド作成～

ボランティア部が先生方に授業で活用してもらおうと、フェイスシールドを作成しました。

材料は100円ショップで調達して、いねいに作業を進め14個完成しました。



6月23日に校長先生への贈呈式を行い、早速24日の授業から活用しています。

ボランティア部の皆さん、ありがとうございました。



名寄東中の歴史を巡る

【1954年(昭和29年)卒業アルバムより】

